

# わかやま母親通信

生命を生み出す母親は  
生命を育て  
生命を守ることをのぞみます

第70号 2019年1月26日発行

発行 和歌山県母親大会連絡会 事務局 和歌山市小松原通3の20 和歌山県教育会館内  
和教組 TEL073-423-2261 FAX073-436-3243 母連メール:w\_haharen@wkn.or.jp

**私たちは、『だまされない、あきらめない、立ち止まらない』で、  
平和で民主的な社会をめざして歩み続けます。**

HP;和歌山県母親大会  
地球温暖化と気候変動による深刻な災害が全国各地で発生しています。そして、混沌とした世界情勢、国内においては、これでもかといった国民軽視の強権的反動政治が続き、圧倒的多数の国民は、くらしにくい、働きにくい、生きづらい思いを募らせながら毎日を過ごしています。そうした国民の不安や不信、怒りをそらすかのように、オリンピック気分の盛り上げや天皇譲位行事の祝賀ムードがつくられているように思います。でも、私たちは、現実にはしっかりと目を向け、平和で人間らしく暮らせる社会を願って、心ある人たちと手をつなぎ、粘り強く母親運動を進めていきましょう。

## 第64回和歌山県母親大会 in 橋本市

### 「地域に根差して」「誰もが元気になる」母親大会を創ろう

今年の和歌山県母親大会は、6月16日(日)、橋本市；高野口小学校(国の重要文化財指定の木造校舎)、産業文化会館アザレアを会場として開催されます。

現地となる伊都橋本郡市では、1月12日に現地実行委員会準備会を開き、現地が中心となる分科会づくりについて話し合いました。今後橋本市など自治体や教育委員会への後援依頼や団体・個人に対して幅広く協力や参加の呼びかけなどに取り組み、2月9日に現地実行委員会を立ち上げる予定です。

県実行委員会は、1月26日(土)に立ち上げました。今の情勢を敏感に受けとめた内容にすることはもちろんですが、開催地域の特徴や良さを活かした企画を取り入れ、みなさんが、「楽しかった」「元気が出た」「学習が深まった」と思える母親大会を創り上げていきたいと考えています。

### 全体会記念講演 講師は、那須正幹氏(児童文学作家)

【講師紹介】1942年、広島県生まれ。現在は、山口県防府市在住。

大学卒業後、サラリーマンなどを経て、文筆生活に入る。1978年-2004年の26年間続いた『ズッコケ三人組』シリーズは、実に50冊を数える。当初は、作風を児童作品として異端視する声もあった中、子どもたちには大人気を博した。

他にも、『ズッコケ中年三人組』『お江戸の百太郎』『リボンちゃん』『コロケ探偵団』の各シリーズ、『ヒロシマ』三部作、『絵で読む広島原爆』など、多数ある。

被爆体験を語り、平和と民主主義の大切さを伝えようと講演活動もしている。

(次の2ページ目に、『ズッコケ熟年三人組』のあとがきの抜粋を掲載しています。)

## 那須 正幹・作 『ズッコケ熟年三人組』 あとがきより抜粋

長らくご愛読いただいた『ズッコケ中年三人組』シリーズも、本編をもって完結となった。おもえば子ども版シリーズを立ち上げたのが1978年、以来37年の長きにわたって書き続けられたのも、読者の皆さんの応援があつてのことで、改めて感謝する次第である。

本編をかくにあたっては、昨年広島を襲った土砂災害を参考にした。なぜ、広島土砂災害を取り上げたかということ、わたし自身が広島生まれで、稲穂県ミドリ花山町は、生まれ故郷の西区己斐(こい)町をモデルにしていること、さらに言えば、わたしの父は戦前女学校教師をしていて、70年前の8月6日、原爆投下から教え子を捜して市内をさまよい、我が家に戻ってきたのは2週間後だったという。今回の作品でハカセが被災した教え子たちを捜しまわる姿は、当時の父をイメージしてのことである。……

ともあれ、ハチベエ、ハカセ、モーちゃんも、ついに50歳を迎えた。彼らのことだから、この先60代、70代になっても、子ども時代と変わらぬ元気な活躍をしてくれるに違いない。ただ、作者としては、これ以上年齢を重ねた彼らを書いていく自信がない。……さらに言えば、この国の行く末である。

わたしが子ども版の三人組を書くにあたって、常に心に描いていたのは、彼らが平和と民主主義の申し子だということだ。彼らがあれだけ自由に活動できたのも、ひとえに日本が平和で民主的な国柄だったからで、これは中年版にも言えることだ。

ところが、戦後70年間続いてきた平和で民主的なこの国に暗雲がかかり始めたのである。果たしてこの先、何年「戦後」であり続けられるか、はなはだ心もとないものを感じている昨今なのだ。

もしかすると「戦前」となるかもしれない時代に、とても三人組の物語を書き続ける気にはなれない。というわけで、本シリーズは、これをもって完全におしまいということにする。…… 2015年12月発刊 ポプラ社

### 武器はいらない 核もいらない **母親・女性の12.8平和行動**

#### **9条改憲 NO! 「税金は軍事ではなく、防災、くらし、子育て、福祉に」**

12月8日を中心に、県下各地で、母親・女性たちがさまざまな工夫をしながら平和行動に取り組みました。今年は36行動で7700枚を配布しました。

大型店の前での宣伝や今まで行ったことのない住宅地のポストインに取り組みました。「寒い中ごくろうさま」「ありがとう」と受け取ってくれる中で、「12.8?知らない」の反応もあり、「しっかり伝えねば」の声が届きました。